

研修名 保育実践 保育士研修 A「そだち」

平成 29 年 7 月 28 日（金）10：00～16：00

講演 「保育者としての成長にむけて～保育者！はじめの第一歩！～」

講師 大阪教育大学 小崎 恭弘 氏



1 講演要旨

1) 保育の理解

プロフェッショナルとは、社会的に認められている価値のある職務、それにより報酬を得ることができている、それにより社会的な貢献ができている、自らがその職業に誇りを持っている、職務を明らかにして人に伝えることができる。

2) 子どもの理解

子どもの特性とは、幼い存在、保護される存在、発達する存在、人としての存在。

3) 遊びの理解

遊びの環境とは、3つの「間」がある。①時間（生活のリズム）、②仲間（人との関わり、人的環境）、③空間（環境の設定の重要性、物的環境）。

4) 保育士の理解

保育士の援助とは、①直接援助と間接援助、②養護と教育、そして統合、③ねらいに対するアプローチ。

2 感想

保育の仕事とは、決して一人ではできない仕事であり、人との関わりの中で行う活動であるということがよく分かりました。また、子どもが好きな人とは、「快」を与えてくれる人、安心・安定を与えてくれる人、興味・関心を与えてくれる人という風に改めて学んだことにより、これからもそのように考えながら子ども達と関わっていきたいです。

子どもの興味と楽しむとは、自らが「やってみよう」と思う活動であり、その活動自体が楽しいものである必要があると考え直し、今までの保育の仕方を見つめることができました。

（記録 和東町立和東保育園 吉岡 眞梨伽）

